

# 一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 第42回シンポジウム/第20回超伝導科学技術賞授賞式

主催：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会

後援：文部科学省

協賛団体：低温工学・超電導学会、日本物理学会、科学技術振興機構

日時：平成28年4月21日(木)10:00-17:20

会場：タワーホール船堀 小ホール（東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL 03-5676-2211）

<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

参加費・資料代：

区 分	参加費	講演集代
超伝導科学技術研究会会員	無 料	2,000 円
未踏科学技術協会会員	2,000 円	2,000 円
一 般	5,000 円	2,000 円
学 生(要学生証提示)	無 料	2,000 円
協賛学会会員	4,000 円	2,000 円

参加申込：こちらの HP からお申し込み下さい。 <https://www1.snnt.or.jp/fsstSP42/>

問 合 先：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 担当：金子

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アマビル 6 階

TEL:03-3503-4681 FAX:03-3597-0535 E-Mail:[fsst@snnt.or.jp](mailto:fsst@snnt.or.jp)

## 超伝導 2016 — 磁場で操る —

### 【開催主旨】

超伝導磁石が作る磁場は常伝導金属の磁石のそれと本質的に大きく異なります。まず、高電流密度、低損失の特徴より効率的に高磁場が発生でき、永久電流回路を備えれば外部電源を切り離すことができノイズが無く時間安定性にも優れる精密磁場空間が生まれます。このような超伝導磁石ならではの特徴は様々な用途のシステムに展開され、先端科学、高度医療や環境などの分野で活躍しています。特にこの数年、高温超伝導材料が磁石に利用されるようになり、応用範囲をさらに広げつつあります。このような超伝導磁石応用を支えてきたのは“磁場を操る”技術であり、それぞれの用途に応じた発展を遂げてきました。本シンポジウムでは超伝導磁石およびその応用の現状と今後の展開について、様々な視点・角度からの講演をいただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちします。

### プログラム案

<座長：熊倉 浩明(物質・材料研究機構)>

10:00-10:10 開会の挨拶 超伝導科学技術研究会会長 下山 淳一

10:10-11:00 基調講演 「超伝導線材の高性能化および無冷媒超伝導マグネットの開発」  
東北大学 渡邊 和雄

11:00-11:50 基調講演 「超伝導磁気力制御技術の開発-実用化を目指して-」  
大阪大学 西嶋 茂宏

